

令和6年度 西脇市議会基本条例検証結果報告書

令和7年8月29日

西脇市議会 議会運営委員会委員長 村岡 栄紀
副委員長 林 晴信

令和6年度の「西脇市議会基本条例 目的達成度評価」を16人の議員全員で実施した結果と前年度との比較を次表に示す。これは、議会基本条例の各条文に関する評価項目について、各議員が5段階で評価した結果の平均値を示している。

<目標達成度評価と前年度との比較>

令和6年度 議会基本条例検証結果

条	問番号	質問内容	今回値	前回値	比較		
1	1	西脇市議会基本条例の目的を果たせるよう努力したか	3.63	3.44	0.19		
2	3	行政の監視機関としての責任は果たせたか	3.56	3.38	0.18		
	4	情報公開や市民参加の推進に努めたか	4.44	3.69	0.75		
	5	透明性、公平性及び公正性を確保した活動ができたか	4.31	3.69	0.62		
	6	平易な言葉で説明責任を果たせたか	3.69	3.31	0.38		
	7	法令等を遵守した活動をしてきたか	4.81	4.25	0.56		
	8	市民の理解が得られる議会運営に努めたか	4.00	3.31	0.69		
	3	9	直接選挙で選ばれた市民全体の代表者としての自覚の元に活動してきたか	4.38	4.38	0.00	
		10	自らの良心と責任をもって市民の負託に応えることができたか	4.19	3.81	0.38	
11		市政の課題や市民の意見、要望を的確に把握した活動ができたか	4.06	3.88	0.18		
12		自己の能力を高めるため不断の研さんに努めたか	3.88	3.88	0.00		
4	13	議案審査は充実し、その機能を十分に発揮できたか	3.38	3.25	0.13	☆	
	14	事務調査は充実し、その機能は十分に発揮できたか	3.63	3.50	0.13	☆	
	15	請願審査は充実し、その機能を十分に発揮できたか	-	-	-		
	16	陳情調査は、その機能は十分に発揮できたか	-	3.44	-		
	17	政策等の立案、提言その他能動的な活動に努めたか	3.40	3.38	0.02	☆	
5	18	議員相互間の自由な議論を尽くし、合意形成に努めたか	2.94	2.88	0.06	○ ☆	
6	19	学識経験者等による専門的事項に係る調査制度は活用したか	1.00	1.31	-0.31	○ ☆	
	20	公聴会制度の積極的な活用はしたか	1.00	1.25	-0.25		
	21	参考人制度の積極的な活用はできたか	1.00	1.25	-0.25		
7	22	市民からの請願を政策提言と位置付け、意見を聞く機会を設けたか	-	-	-		
	23	市民からの陳情を政策提言と位置付け、陳情者からの意見を聞いたか	-	4.88	-		
8	24	議員研修の充実強化に努めたか	4.44	4.06	0.38		
	25	専門家及び有識者による研修会を積極的に開催したか	4.50	4.25	0.25		
9	26	市長等と常に緊張ある関係を保持し、事務の執行の監視及び評価は行ったか	3.44	3.44	0.00	☆	
	27	一問一答方式での質疑質問で、論点や争点を明確にしたか	3.00	2.94	0.06	○ ☆	
10	31	重要な政策等について第10条に列記するような資料の提出を求めたか	5.00	4.00	1.00		
	32	政策等の審議にあり、立案や執行における論点や争点を明確にし、さらには執行後における政策評価に資する審議に努めたか	3.25	3.19	0.06	○ ☆	
12	33	総合計画基本構想のほか、市民生活に大きな影響を与える計画等を議決事件として定めたか	1.00	1.31	-0.31		
15	34	市民の意向を反映するため、意見を聴取する機会の確保に努めたか	4.31	3.88	0.43		
	35	活動に関する情報公開を徹底し、市民に対する説明責任を十分に果たしたか	4.31	3.63	0.68		
16	36	市政の諸課題について、自由な意見交換をする課題懇談会を開催したか	4.94	4.75	0.19		
17	37	議会の役割、責任を明らかにするため、議会活動に関する情報の公開を図ったか	4.94	4.81	0.13		
	38	本会議や委員会のインターネット配信に努めたか	5.00	4.94	0.06		
	39	全議案についての各議員の賛否、視察報告等を公表したか	5.00	4.94	0.06		
18	40	市民に対する議会報告会を通年にわたり開催できたか	5.00	4.88	0.12		
	41	市民の意見を聴取して議会活動の改善を図ったか	3.63	3.75	-0.12	☆	
	42	市民との意見交換を行い、議会の運営改善、政策提言等に生かしたか	3.56	3.69	-0.13	○ ☆	
19	43	議会だよりを毎定例会後に発行したか	5.00	5.00	0.00		
	44	議会だよりには議案に対する各議員の対応等「議会だより発行要項」に則した内容がきちんと掲載されたか	5.00	4.63	0.37		
	45	分かりやすく読みやすい充実した誌面となったか	4.13	3.69	0.44		
20	46	議場等の開放を実施できたか	5.00	4.63	0.37		
	47	より親しみのある議会と議会活動の活性化は目指せたか	4.13	2.75	1.38		
22	48	政策を中心とした同一の理念を共有する議員で会派を結成できたか	-	-	-		
23	49	議長は、中立公正な職務遂行に努め、円滑な議会運営を行ったか	4.50	4.40	0.10		
24	50	積極的な情報提供を行う機能の充実強化に努めたか	-	-	-		
	51	議会図書室の一般利用は図られたか	-	-	-		
25	52	議会事務局の調査活動の充実を図ったか	-	-	-		
	53	議会事務局の法制能力の強化を図ったか	-	-	-		
26	54	市民の代表者としての倫理を常に自覚していたか	4.63	4.63	0.00		
	55	市民の疑惑を招くことのないよう行動したか	4.75	4.69	0.06		
	56	議員と市長等との関係の透明性を図ったか	4.19	4.19	0.00		
28	57	政務活動費の交付に関する条例を遵守したか	5.00	4.88	0.12		
	58	市民から疑義が生じないよう収支報告書は提出したか	5.00	4.81	0.19		
	59	収支報告書の公表に務めていたか	4.94	4.81	0.13		
30	60	継続的な議会改革に取り組んだか	3.93	3.56	0.37	○ ☆	
31	61	議会に関する条例、規則等の改廃に当たっては、この条例との整合を図ったか	5.00	4.88	0.12		
	62	一般選挙後の任期開始後、条例の理念を浸透させるため、この条例の研修を行ったか	-	-	-		
32	63	年1回、この条例の目的が達成されているか検証されたか	5.00	4.88	0.12		
	64	検証の結果、改善の必要がある場合適切な措置を講じたか	3.93	3.56	0.37	○	
☆ 令和7年度の重点取組課題候補 ○ 令和6年度の重点取組課題			4.02	3.82	0.20		

議会基本条例の検証で抽出した重点課題の改善・対応策

①（委員会として）議案審査・事務調査は充実し、その機能を十分に発揮できたか。政策等の立案、提言、その他能動的な活動に努めたか。議員相互間の自由な議論を尽くし、合意形成に努めたか。

- ・自分の意見をしっかり持つための努力を怠らない。
（会派の長が言っているからという理由でそれに従うのではなく、賛成するにせよ反対するにせよ、議案審査・事務調査を行う中で、何が市民のために大切であり、必要なのかという自分の意見をしっかり持って、是々非々の姿勢で臨むことが必要である。）
- ・委員長が議論を促す采配を行うことが重要となる。
（議案審査・事務調査において、委員長がここは議論すべきだと感じた場面で、委員それぞれの意見を積極的に聴取することにより、議論を深める努力をすることが必要である。）
- ・所管事務調査・事務事業評価や委員会での提言事項の進捗確認を行う。
（所管事務調査や事務事業評価での報告や、委員会において提言等を行った事項は、言って終わりにならないよう、市政にどれくらい反映されているのか定期的（半年スパンくらい）に進捗を確認することが必要である。）

②市長等と常に緊張ある関係を保持し、事務の執行の監視及び評価は行ったか。

- ・基本は議員個々の心がけ以外にはない。
（議事等において理事者がすべて正しいとは思わず、常に市民の立場で立って、是々非々の態度で監視及び評価を行うことが必要であり、職員が一生懸命やっているのに、反対するのが悪いなどといった考え方は言語道断であり、自分自身の意見をしっかり持つことが重要である。この件はまだまだできていないという意見も多く、しっかりと実践していきたい。）

③市民の意見を聴取して議会活動の改善を図ったか。市民と意見交換を行い、議会の運営改善、政策提言等に生かしたか。

- ・目的意識を持ち政策提言につなげること。
（議会と語ろう会がマンネリ化しており話を聞くだけ、やって終わりで深められない状況が続いているので、それを打開するために常に目的意識を持つことが必要である。また通年開催で実施しており、各班バラバラな動きになりがちなので、今後は前半・後半に区切り、しっかりと熟議を重ねた班長会議等を行う中で、重要課題を抽出し、最終的に政策提言につなげるように努める。）
- ・テーマは身近なものにする。
（「消滅可能性自治体からの脱却」などといった大きなテーマにすると、企業誘致や子育て施策といった漠然とした答えしか出ずに、政策提言につな

りにくいので、例えば「国保税の値上げ」「むすブンの病院からの帰りの予約」等、市民の皆さんにとって身近な課題を3点くらい用意して臨むことが必要である。また、その地区の課題を事前に調査して、意識して臨むこと。)

- 役員会の前後での開催はできる限り避ける。

(役員会前後の開催にすると、役員さんしか参加されない可能性が高いので、できる限り別の日に設定するように努めることが必要である。なお、区長さんとの打ち合わせの中で、負担のかからない無理のない範囲で、女性会や子供会等への声掛けをお願いします。)